

プロトコール名 乳癌 カドサイラ療法

適応 HER2陽性の手術不能又は再発乳癌

条件 ハーセプチン・タキサン系による治療歴がある症例に限る

投与期間 3週を1コースとする

投与計画

薬剤名	基準量
カドサイラ	3.6 mg/kg

HER2検査結果

年 月 日

IHC3+

IHC2+ かつ FISH+

FISH+

導入前のLVEF:

いずれかであることを確認

% : 年 月 日

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
カドサイラ	3.6mg/kg			↓																				

①生食100ml(ラインキープ)

③グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)

②生食250ml+カドサイラ 3.6mg/kg (* 初回90min、2回目以降30minに短縮可)

⑤生食50ml (5min)

生食100ml	グラニセトロン オルガドロン 30分	カドサイラ 生食250ml *	生食50ml 5分
---------	--------------------------	-----------------------	--------------

カドサイラは0.22ミクロン以下のインラインフィルターを通して投与すること

投与前に心エコー検査を実施し、LVEFの測定をおこなうこと。
投与中も定期的に心機能の確認をすること。

●休薬・減量基準

・次表の基準を参考に、減量・休薬をおこなうこと

LVEF	40%以上45%以下	投与前からの変化が10%未満	継続(3週間以内に再測定を行い、LVEFを確認すること)
		投与前からの変化が10%以上	休薬(3週間以内に再測定を行い、投与前からの変化が10%未満に回復しない場合は中止)
	40%未満	休薬(3週間以内に再測定を行い、再度LVEF 40%未満の場合は中止)	
	症候性うっ血性心不全 休薬		
AST・ALT	3~5×ULN未満		減量せずに継続
	5~20×ULN未満		5×ULN以下に回復後、1段階減量して再開可能
	20×ULN以上		中止
ビリルビン	1.5~3×ULN未満		1.5×ULN以下に回復後、減量せずに再開可能
	3~10×ULN未満		1.5×ULN以下に回復後、1段階減量して再開可能
	10×ULN以上		中止
※ASTまたはALTが3×ULN かつ 総ビリルビンが2×ULNの場合には中止すること			
血小板	2.5万~5万/mm ³ 未満		7.5万/mm ³ 以上に回復後、減量せずに再開可能
	2.5万/mm ³ 未満		7.5万/mm ³ 以上に回復後、1段階減量して再開可能
末梢神経障害	Grade 3、4		Grade2以下に回復後、減量せずに再開可能

※減量の目安：一度減量した後は、再度増量はしないこと!

減量段階	投与量
1段階減量	3.0mg/kg
2段階減量	2.4mg/kg
3段階減量	投与中止